

(仮称) 平和資料館基本設計 (案) について

1 基本設計策定までの取り組み

(仮称) 平和資料館の建設に向けて、施設のあり方やコンセプト等、資料館の基本的な方向について、「(仮称) 平和資料館のあり方を考える懇話会」や議会からも意見をいただき、施設の方向性をまとめた基本計画を策定した。

今回、基本計画を基に、施設や展示について具体的な整備内容をまとめた「(仮称) 平和資料館基本設計」(案)を策定した。

(資料館のコンセプト)

- ① 市民の戦争体験や当時の暮らしを物語る資料などを保存・継承していく施設
- ② 戦争の悲惨さや平和の大切さ、命の尊さについて考える機会を提供する施設

2 基本設計の概要について

(1) 施設整備の基本方針

- 資料館としての性格を考慮した施設
- 人と環境にやさしい施設
- 周辺施設等との親和性がある施設

(整備概要)

- 建設場所：小倉北区域内4番（勝山公園中央図書館北側駐車場内）
- 延べ面積：約900㎡
- 規模：地上1階（一部2階建）
- 構造：鉄骨造
- 工事費：約8億円（展示製作を含む）

(整備スケジュール)

平成31年度 工事開始

平成32年度 工事竣工（開館時期は工事の進捗に応じて決定）

(2) 展示製作の基本方針

- 来館者が体験・体感でき、映像・音響設備を活用した効果的な展示
- 事実に基づいた正確で分かりやすい展示
- 子供たちの目線に立った展示

3 今後の取り組み

議会からのご提案等を踏まえつつ、今年度中に、資料館の施設及び展示の設計をまとめる。

【参考資料】

基本設計概要版（施設）	別紙1
基本設計概要版（展示：コーナー構成・展示設備）	別紙2
基本設計概要版（展示：特別展示「運命の昭和20年8月8日・9日」）	別紙3
基本設計概要版（展示：資料の例）	別紙4